

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【平成29年5月】

■調査概要（データ対象期間：平成29年5月1日～5月31日）

- 調査期間：平成29年6月1日～6月21日
- 調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査
- 回収状況：建設業25企業、製造業22企業、卸売業12企業、小売業34企業
飲食業17企業、サービス40企業（運輸、不動産仲介業を含む）
<合計150企業>
- 調査項目：5月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価
状況向こう3ヶ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI (Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DI・水準DIともにマイナス幅が拡大

1. 業況判断

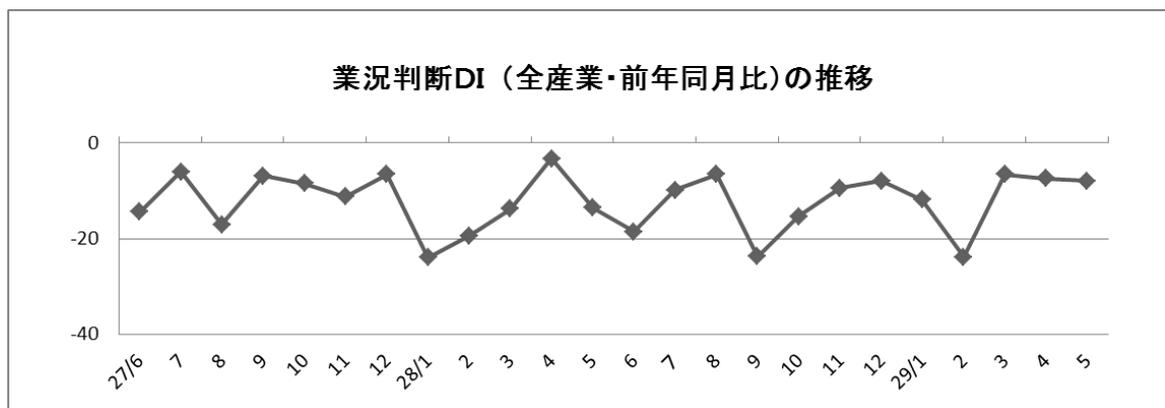
- 全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲7.4）よりマイナス幅が0.6ポイント拡大し、▲8.0となった。業種別では、卸売業、サービス業はマイナスから0となった。飲食業、小売業はマイナス幅が縮小した。製造業はプラスから0となり、建設業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月（▲11.3）よりマイナス幅が2.7ポイント拡大し、▲14.0となった。業種別では、飲食業、製造業はマイナス幅が縮小した。卸売業、サービス業、小売業、建設業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	15.3 (15.3)	61.4 (62.0)	23.3 (22.7)	▼ ▲ 8.0 (▲ 7.4)	14.0 (10.7)	58.0 (67.3)	28.0 (22.0)	▼ ▲ 14.0 (▲ 11.3)
建設業	8.0 (9.5)	52.0 (57.2)	40.0 (33.3)	▼ ▲ 32.0 (▲ 23.8)	8.0 (4.8)	52.0 (71.4)	40.0 (23.8)	▼ ▲ 32.0 (▲ 19.0)
製造業	18.2 (29.2)	63.6 (58.3)	18.2 (12.5)	▼ 0.0 (16.7)	22.7 (8.3)	50.0 (70.9)	27.3 (20.8)	↗ ▲ 4.6 (▲ 12.5)
卸売業	16.7 (14.3)	66.6 (50.0)	16.7 (35.7)	↗ 0.0 (▲ 21.4)	0.0 (7.1)	75.0 (64.3)	25.0 (28.6)	▼ ▲ 25.0 (▲ 21.5)
小売業	14.7 (14.7)	61.8 (58.8)	23.5 (26.5)	↗ ▲ 8.8 (▲ 11.8)	14.7 (17.6)	58.8 (58.9)	26.5 (23.5)	▼ ▲ 11.8 (▲ 5.9)
飲食業	17.6 (0.0)	58.9 (85.7)	23.5 (14.3)	↗ ▲ 5.9 (▲ 14.3)	17.6 (0.0)	53.0 (71.4)	29.4 (28.6)	↗ ▲ 11.8 (▲ 28.6)
サービス業	17.5 (16.3)	65.0 (65.1)	17.5 (18.6)	↗ 0.0 (▲ 2.3)	15.0 (14.0)	62.5 (69.7)	22.5 (16.3)	▼ ▲ 7.5 (▲ 2.3)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計



2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月（▲5.4）よりマイナス幅が1.9ポイント拡大し、▲7.3となった。業種別に見ると、卸売業は、マイナスからプラスに転じた。小売業は変わらず、飲食業はマイナス幅が縮小した。サービス業、建設業はマイナス幅が拡大し、製造業はプラスからマイナスに転じた。

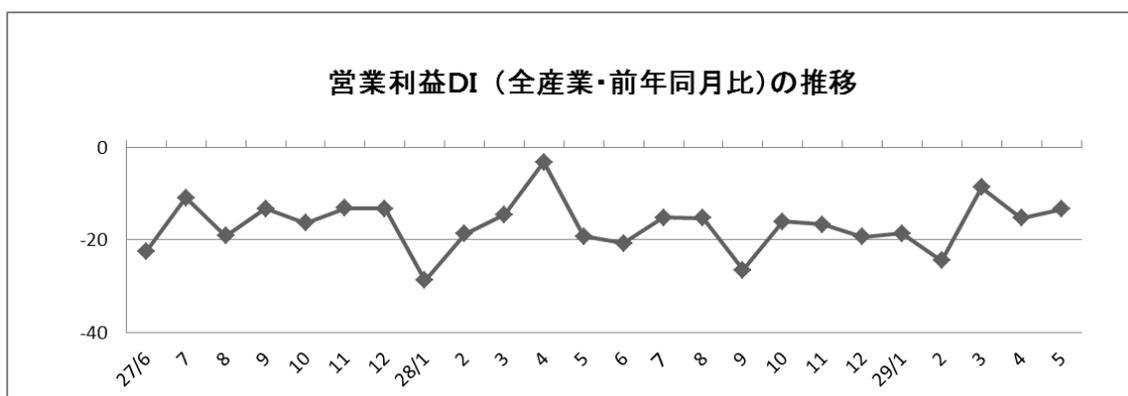


【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲20.6	▲16.0	▲14.6	▲12.0	▲25.1	▲10.7	▲5.3	▲8.0	▲13.2	▲20.6	▲1.3	▲5.4	▲7.3
建設業	▲28.0	▲20.8	0.0	▲9.5	▲9.6	▲21.7	▲12.5	▲39.2	▲25.0	▲22.7	▲5.2	▲19.1	▲28.0
製造業	▲28.6	▲5.0	▲10.0	▲5.0	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲9.1
卸売業	▲25.0	7.1	▲30.8	▲28.6	▲15.4	▲23.1	6.2	▲18.8	▲43.7	▲15.4	▲16.6	▲28.6	16.6
小売業	▲17.1	▲24.2	▲17.7	▲18.2	▲29.4	▲8.6	▲13.4	16.1	9.0	▲41.2	▲2.8	0.0	0.0
飲食業	▲40.0	▲35.8	▲33.4	▲5.5	▲43.7	▲18.8	▲28.6	▲13.3	▲33.4	▲35.3	▲16.7	▲14.3	▲11.8
サービス業	▲7.0	▲13.3	▲10.9	▲9.1	▲25.0	5.0	6.8	▲6.7	▲13.3	▲11.6	8.9	▲4.6	▲5.0

3. 営業利益DI（前年同月比）

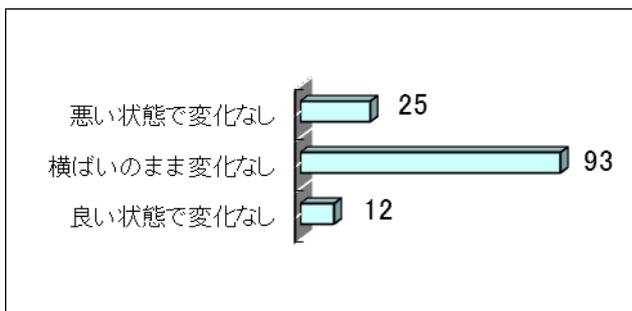
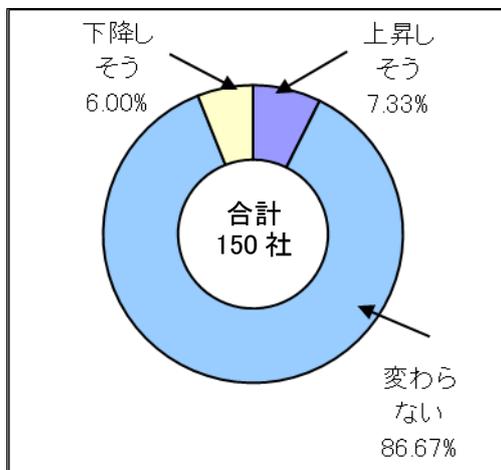
○全産業合計の営業利益DIは、前月（▲15.3）よりマイナス幅が2.0ポイント縮小し、▲13.3となった。業種別に見ると、卸売業はマイナスからプラスに転じた。飲食業、サービス業、建設業はマイナス幅が縮小した。製造業、小売業はマイナス幅が拡大した。



【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲19.2	▲20.7	▲15.2	▲15.3	▲26.5	▲16.0	▲16.7	▲19.3	▲18.6	▲24.5	▲8.6	▲15.3	▲13.3
建設業	▲24.0	▲25.0	▲8.7	▲19.0	▲23.8	▲21.7	▲29.2	▲43.5	▲20.0	▲27.3	▲21.0	▲33.3	▲32.0
製造業	▲14.3	▲10.0	▲20.0	▲5.0	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1
卸売業	▲16.6	0.0	▲7.7	▲21.4	▲23.1	▲7.7	▲6.2	▲25.0	▲37.5	▲30.8	▲8.3	▲14.3	8.3
小売業	▲22.8	▲27.3	▲8.9	▲15.1	▲29.4	▲14.3	▲23.3	0.0	▲9.1	▲35.3	▲2.8	▲11.7	▲17.6
飲食業	▲46.7	▲42.9	▲46.6	▲16.7	▲50.0	▲37.5	▲42.9	▲33.4	▲46.6	▲41.2	▲22.2	▲21.4	▲11.8
サービス業	▲6.9	▲17.8	▲13.0	▲15.9	▲15.9	0.0	2.3	▲17.8	▲17.8	▲14.0	▲2.2	▲14.0	▲7.5

◇ 向こう3ヶ月の見通し ◇



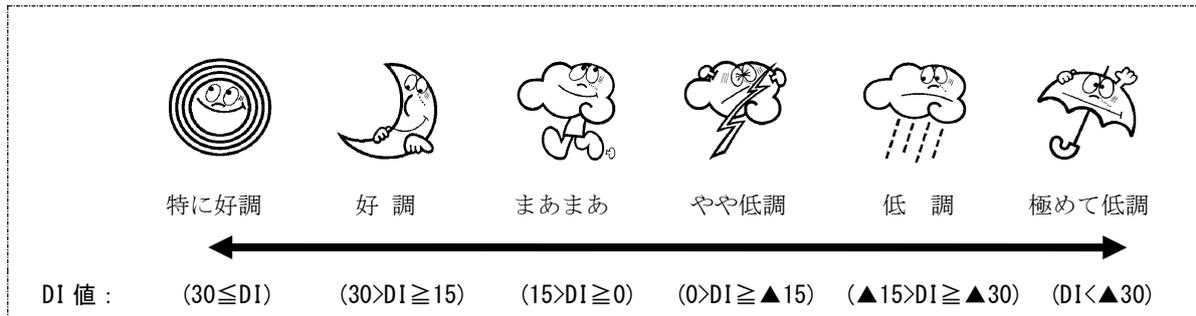
○平成29年6月～平成29年8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.67ポイント増加し7.33%、「下降しそう」が3.33ポイント増加し6.00%となった。業種別の見通しDIは建設業(16.0)、製造業(▲4.5)、卸売業(8.3)、小売業(0.0)、飲食業(0.0)、サービス業(▲5.0)であった。

➡「上昇しそう」では、「今後は受注工事も引き続きあるため」「受注があるため」「全国都市緑化信州フェアを見据え、公共工事が増えているため」「公共工事の発注がはじまるため」(建設業)、「受注の増加のため」(製造業)、「半導体関連の仕事が動き出したため」(卸売業)、「旬の時期になるため」(小売業)、「企業の業績上昇がみられるため」(飲食業)、「職業訓練受講者募集に底打ち感があり、最悪期に比べ若干増加傾向のため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では、「例年悪いため」(建設業)、「観光関連の仕事が一段落したため」(製造業)、「5月は一時的な来客数増加があったが、その反動も予想されるため」(飲食業)、「事業主が治療により入退院が続いているため」「季節的に落ち込むため」「損益分岐点を考えた経営を心掛けるのが難しいため」(サービス業)といった声が寄せられた。

業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 28.0	▲ 20.8	0.0	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 21.7	▲ 12.5	▲ 39.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 5.2	▲ 19.1	▲ 28.0
受注量	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 38.1	▲ 4.7	▲ 13.1	▲ 20.8	▲ 39.1	▲ 30.0	▲ 18.2	▲ 5.2	▲ 38.1	▲ 40.0
受注単価	▲ 16.0	▲ 8.3	4.4	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 26.1	▲ 16.6	▲ 21.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 5.3	▲ 4.8	▲ 12.0
営業利益	▲ 24.0	▲ 25.0	▲ 8.7	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 21.7	▲ 29.2	▲ 43.5	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 21.0	▲ 33.3	▲ 32.0
見通し	▲ 4.0	12.5	4.3	▲ 4.8	9.5	▲ 8.7	▲ 4.1	▲ 4.4	0.0	4.6	10.5	0.0	16.0

<経営者の目・見方・e t c >

鉄工

- ・東京オリンピックだけでなく首都圏の再開発計画についての案件があり、かなり先まで受注見込みがあるが、その分地元の工事が発注されても手につかない。一極集中が進んでいるため将来が不安である。各自治体は気づいているのだろうか。
- ・首都圏の案件が多く、稼働率も良い。
- ・良い話はなく、変わりなく進みそうである。

土木工事

- ・この時期は各種団体の総会ばかりで、仕事量も少なく状態は悪いままである。7月まで続きそうである。
- ・建築、設備系の仕事は民間を含め多いように思われるが、土木系の工事量は例年になく低調と感じる。

建築工事

- ・新しい期になったが公共工事もなく、民間も5月は受注が少なく不安であったが一気に来月から受注が入り胸をなでおろしている。7月以降もこの調子であってほしい。

総合建設	・例年に比べ極端に公共土木事業の発注が少ない。大部分の業者の手持ち工事が極端に少ない。
電気工事	・5月は業界の決算総会の月であるが特に気になる動きはなかった。役員改選等も順調に行われ1年の締めくくりが行われた。業績は変わらない。新年度に入っても新しい仕事の話が出ず、待つしかない。
管工事	・5月は毎年売上が落ちるが単価は上がり、仕入値が上がるので経営的には難しい月となった。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲28.6	▲5.0	▲10.0	▲5.0	▲26.1	▲17.4	▲4.5	0.0	0.0	4.5	5.0	16.7	▲9.1
受注量	▲28.6	0.0	▲25.0	▲15.0	▲39.1	▲26.1	▲13.7	▲10.0	▲9.1	▲4.5	▲15.0	4.2	▲18.2
受注単価	▲14.2	▲10.0	▲20.0	▲10.0	▲26.1	▲17.4	▲27.3	▲10.0	▲18.2	0.0	▲5.0	▲16.6	▲9.1
営業利益	▲14.3	▲10.0	▲20.0	▲5.0	▲30.5	▲30.5	▲22.7	▲10.0	0.0	▲9.1	▲10.0	▲4.1	▲9.1
見通し	4.7	▲5.0	10.0	▲10.0	▲8.7	4.4	0.0	▲5.0	0.0	9.1	▲20.0	▲4.2	▲4.5

<経営者の目・見方・etc>

印刷	・観光関連の仕事が一段落した。EUや米国の状況が気になる。 ・業界はあまり元気がなく、景気が良くない等、あまり良い方向には向かっていない状況である。
小型情報機器組立	・常に先が見えてこない。
金属塗装	・新聞、テレビ等報道では設備投資、半導体製造装置、輸出等上向きで好調とのことだが当社に限っては受注と売上が非常に減ってしまった。今後も良い話は入ってこない。
合成樹脂加工	・好転する要素は特に見当たらず現状のまま横ばいであれば許容範囲である。相変わらず海外動向を含め、不安定要素が大きく、先行きの不透明感は否めない。
菓子	・定番商品の動きが悪く、受注が極端に少なかった。
食品・飲料	・来月、再来月は受注が減りそうである。
紙器	・5月は連休もあり稼働日も少なく電話も少なかった。今後は徐々に良くなりそうである。

3. 卸売業

売上高  好調	販売客数  まあまあ	販売客単価  まあまあ	営業利益  まあまあ	今後3ヶ月  まあまあ
--	---	--	---	--

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 25.0	7.1	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 15.4	▲ 23.1	6.2	▲ 18.8	▲ 43.7	▲ 15.4	▲ 16.6	▲ 28.6	16.6
販売客数	▲ 16.7	▲ 7.2	▲ 30.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 23.1	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 16.7	▲ 7.2	0.0
販売客単価	▲ 16.7	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 7.7	0.0	6.3	▲ 18.8	▲ 18.7	▲ 15.4	▲ 8.3	▲ 14.3	0.0
営業利益	▲ 16.6	0.0	▲ 7.7	▲ 21.4	▲ 23.1	▲ 7.7	▲ 6.2	▲ 25.0	▲ 37.5	▲ 30.8	▲ 8.3	▲ 14.3	8.3
見通し	8.3	▲ 7.1	0.0	7.1	▲ 7.7	0.0	0.0	▲ 6.3	0.0	0.0	8.3	7.1	8.3

<経営者の目・見方・etc>

機械工具
土産品
金属製品

- ・競合が多いため利益は少ない。
- ・今年のゴールデンウィークは日並びも良く売上も好調だったが休み明け以降、大きく落ち込み伸び悩んでいる。前年を上回ることが厳しいと感じる。
- ・首都圏では秋口から東京オリンピック関係の大型案件がでてくる。しかし、人手不足により仕事があってもこなせない状況。地元への恩恵は小さい。

4. 小売業

売上高  まあまあ	販売客数  やや低調	販売客単価  やや低調	営業利益  低調	今後3ヶ月  まあまあ
--	---	--	--	--

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 17.1	▲ 24.2	▲ 17.7	▲ 18.2	▲ 29.4	▲ 8.6	▲ 13.4	16.1	9.0	▲ 41.2	▲ 2.8	0.0	0.0
販売客数	▲ 11.4	▲ 24.2	▲ 11.8	▲ 6.1	▲ 29.4	▲ 5.7	▲ 23.3	0.0	3.1	▲ 41.2	▲ 8.3	▲ 3.0	▲ 8.8
販売客単価	▲ 22.8	▲ 18.1	▲ 17.7	▲ 12.1	▲ 23.6	▲ 22.9	▲ 20.0	6.4	▲ 12.1	▲ 32.3	0.0	▲ 11.7	▲ 5.9
営業利益	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 8.9	▲ 15.1	▲ 29.4	▲ 14.3	▲ 23.3	0.0	▲ 9.1	▲ 35.3	▲ 2.8	▲ 11.7	▲ 17.6
見通し	▲ 2.8	0.0	▲ 2.9	▲ 6.1	▲ 5.9	0.0	0.0	0.0	▲ 3.0	2.9	▲ 8.3	2.9	0.0

<経営者の目・見方・etc>

パン
菓子

- ・原材料・経費の値上がりが多く製品には価格転嫁できない状況。個人消費は弱いと感じる。
- ・ゴールデンウィークは天候にも恵まれ動きがあり、後半に繋げることができた。積極的にイベントも行っていきたい。
- ・観光客が多かった。クラブフェアの最中は中町通りの人通りも多い。イオンモール松本の開店後、観光客が敬遠する街にならないかと心配である。

生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> ・連休はお祭りとの出入も多く毎年忙しい。また今年は母の日が連休と離れたので良かった。 ・クラフトフェアの集客数が売上にも表れた。
おやき	<ul style="list-style-type: none"> ・食料品などが値上げになるためか、消費者の財布の紐がさらに締まっていると感じる。異業種の方に聞いてもほとんど同じ答えが返ってくる。今後は人口、特に労働人口の減少が言われているので、より一層の工夫と努力が求められる。
薬局	<ul style="list-style-type: none"> ・気温差があり、体調を崩す方が多かった。
印章	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行生と外国人観光客が目立つ中、工芸の五月やクラフトフェアに訪れる方々も多く見受けられた。 ・クラフトフェアの開催で街中は賑わいをみせたが売上には繋がらなかった。
ガラスサッシ	<ul style="list-style-type: none"> ・松本市住宅用温暖化対策設備設置補助金の始まりで仕事が増えた。どこも忙しそうである。
化粧品	<ul style="list-style-type: none"> ・クラフトフェア、工芸の五月のブランドイメージが広がり、県外からも多くの方が来てくださり有難い。 ・例年だとゴールデンウイーク後の客数と売上の低下がみられるが今年は少しだけ上乗せ出来る状況だった。
書籍・木のおもちゃ	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウイーク中は賑わいをみせたものの、その後は平常通りの客足であった。ライフスタイルの変化もあり従来とは違った方法で商売を考えていかなければならないと感じている。
住宅機器	<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ現場が増えてきている。
ショッピングセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウイークは順調な動員で売上に繋がった。母の日などのギフト需要は以前に比べ直前に盛り上がる傾向が強く、購買行動の変化が見られる。
陶磁器	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンウイークは休日の並びも良く、天候にも恵まれたので期待通りの賑わいであった。その後も安定した天候が続き、地元の消費者は農作業に追われたのではないだろうか。夏休みに入るまでは例年通り観光客頼みの閑散期が続く。
観光物産	<ul style="list-style-type: none"> ・連休は客足がまずまずであったが連休後は激減した。5月下旬より外国人観光客が減少し、6月が心配である。

5. 飲食業

売上高	販売客数	販売客単価	営業利益	今後3ヶ月
				
やや低調	やや低調	やや低調	やや低調	まあまあ
(各項目別前年同月比)				

【項目別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 40.0	▲ 35.8	▲ 33.4	▲ 5.5	▲ 43.7	▲ 18.8	▲ 28.6	▲ 13.3	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 11.8
販売客数	▲ 40.0	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 5.6	▲ 31.2	▲ 12.5	▲ 28.6	▲ 20.0	▲ 33.4	▲ 35.3	▲ 11.1	▲ 14.3	▲ 5.9
販売客単価	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 11.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.8	▲ 13.3	▲ 6.6	▲ 35.3	5.6	▲ 14.3	▲ 11.7
営業利益	▲ 46.7	▲ 42.9	▲ 46.6	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 37.5	▲ 42.9	▲ 33.4	▲ 46.6	▲ 41.2	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 11.8
見通し	▲ 20.0	7.2	6.6	▲ 16.7	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 26.7	0.0	▲ 11.7	16.7	14.3	0.0

<経営者の目・見方・e t c>

レストラン

寿司

- ・企業に好調のきざしが見えてきた。飲食にも反映して欲しい。
- ・ゴールデンウイーク期間中は後半に連休が集中したこともあり来店も多かった。安曇野市を含めた松本平への観光客が多いように感じた。また、一方でゴールデンウイーク明けは天候もあつてか客足は鈍く、年々閑散と繁忙の差が大きくなっていると感じる。
- ・クラフトフェアまつもとの開催場所が近所のため、例年のように交通渋滞と駐車違反が目立った。お昼に寄るので車を置かせて欲しいというお客様もいた。客商売には駐車場が必要なことを改めて感じた。イオンモール松本の建設工事が着々と進んでいるが、期待と不安が入り乱れている。
- ・ゴールデンウイークには観光客は多少来店があったが地元の方の宴会がなく平均より低調であった。

郷土料理

仕出し料理

料理

そば

- ・観光客の減少が続いており大型連休やクラフトフェアも客足の低下により売上も落ちた。好調だった前年度は上田が大河ドラマで注目されていたことや御柱祭の影響が大きかったと感じる。
- ・5月はイベントが多く、活気があり良かった。ただ、残念ながら売上に良い影響がでるまでには至らなかった。
- ・連休後は客足が止まった。天気の良さが来客に繋がらなかった月であった。
- ・来月からは梅雨期と夏休みでプラスマイナスゼロの見通しである。
- ・例年どおりゴールデンウイークは人出が多かったが、連休明けも例年通り人出がなくなり、夏に向けて一休みである。
- ・連休は天気が良かったからか客足も良かった。

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	28年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 7.0	▲ 13.3	▲ 10.9	▲ 9.1	▲ 25.0	5.0	6.8	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 11.6	8.9	▲ 4.6	▲ 5.0
販売客数	▲ 11.7	▲ 15.5	▲ 8.7	▲ 4.5	▲ 22.7	0.0	4.6	▲ 11.1	▲ 17.7	▲ 14.0	4.4	0.0	▲ 7.5
販売客単価	9.3	▲ 4.4	▲ 4.4	4.5	0.0	▲ 2.5	6.8	▲ 2.2	▲ 4.4	▲ 7.0	0.0	2.3	0.0
営業利益	▲ 6.9	▲ 17.8	▲ 13.0	▲ 15.9	▲ 15.9	0.0	2.3	▲ 17.8	▲ 17.8	▲ 14.0	▲ 2.2	▲ 14.0	▲ 7.5
見通し	2.3	2.2	0.0	4.6	9.1	10.0	4.5	2.2	8.9	0.0	6.6	7.0	▲ 5.0

<経営者の目・見方・e t c>

ホテル	<ul style="list-style-type: none">・宿泊の動きが好調である。特に5月後半の平日の動きは例年になく良かった。・宿泊は客単価も少し上がり好調。宴会等は去年が悪かったのが元に戻った。婚礼は低調である。
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none">・比較的良い天気が続き、山に残っていた雪も溶け例年並みの春となった。お客様の入込みは順調だったが人手が集まらず、客室を満室にすることができなかつたり、外売りの売店や食堂を閉めざる負えない状態になってしまった。人手不足が一番の課題である。・観光シーズン到来で多忙の時期なため、5月の連休は天候にも恵まれ観光客も最多であった。政府の働き方改革に期待したい。・前年好調に推移した宿泊人員、宿泊単価、営業利益等ほぼすべてにおいて前年を下まわってしまった。外国人観光客が増え、単価は安くなるが受け入れないと経営が成り立たないことや、情報が即時に入手できる社会のため安売り競争となりがちである。直近の課題はいかにして安売りを止めるかである。
宿泊	<ul style="list-style-type: none">・天候はそれほど悪くないにもかかわらずゴールデンウィーク以降客足が鈍い。観光バス需要は減っているように思う。客数は減ったが設備投資により単価を上げたことで横ばいの状態であった。
自動車整備	<ul style="list-style-type: none">・連休があったため実働する時間が短く、売上も利益も少なくなった。連休も長すぎるのもどうかと感じている。
タクシー	<ul style="list-style-type: none">・連休後半は人出が多く売上は前年を僅かだが上回った。オートガスの価格は4月に続き値下がりした。
旅行斡旋	<ul style="list-style-type: none">・夏に向けて海外旅行の需要が増すが、諸外国のテロの影響で需要減とならないか懸念している。
機械設計	<ul style="list-style-type: none">・車関係の仕事が多くなりそうである。
ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none">・仕掛中の案件について一段落。新規案件の営業中。・業務系システムの話ではあるが、最近は多様な言語、ツール類を組み合わせ実装に至るケースが多い。そのような状況で、セキュリティの名のもとに相変わらず開発者を外界から遮断して缶詰状態にする開発現場も多い。そうした環境では、ネットによる恩恵もモチベーションも上がらず、若い技術者も育たないことに気が付いていない。
マナー講師	<ul style="list-style-type: none">・4月、5月は新入社員研修等が入るため毎年良い状況である。今後フォロー研修にも力を入れていきたいと考えている。
写真	<ul style="list-style-type: none">・学校行事、記念写真、スタジオ撮影等固定客の利用があり、有難い。